

海幸（かいこう）

代表 木村 吉隆

石川県輪島市

輪島港直送の新鮮な魚介類を多くの人に味わってほしい！

～創業のハードルはそんなに高くない！自分の出来る事から始めよう～



★創業者概要

業種：飲食店

住所：〒928-0001

石川県輪島市河井町

雇用者数：3人

創業：H27.7月

電話番号：0768-22-0058



★事業概要

輪島一の観光名所である「輪島朝市」で空き店舗を活用し、飲食店「海幸」を開業。輪島港直送の新鮮な魚介類を使った海鮮丼、寿司を提供。当店では「能登井（地域団体商標）」として「輪島ふぐ」を贅沢に使ったふぐ丼を提供しています。大きく赤い看板を目印で、店の奥には土蔵をリフォームした漆の間があります。

営業時間 8:30～14:00

定休日 毎週水曜日



←「輪島ふぐ」を使った「ふぐ丼」
ふぐの白子が添えられています。

↓「海宝丼」



←土蔵をリフォームした漆の間

★事業の強み・ポイント

- ・年間69万人の観光入込（平成28年）がある輪島朝市の中に店舗を構えています。
- ・地元漁師直営店。輪島港で揚げた新鮮な魚介類を提供しています。
- ・輪島市では漁獲量日本一の天然フグを「輪島ふぐ」としてブランド化しており、輪島漁協直営のふぐの加工施設を有しているので、新鮮で安全なフグがいつでも手に入り、お客様に提供できます。

創業年表

西暦	出来事
平成11年4月	大学で土木を専攻し、建設会社に就職。
平成16年3月	建設会社を退職し、実家の飲食店を手伝う。
平成27年6月	輪島市商業等活性化推進支援補助金申請 空き店舗改装着手
平成27年7月	海幸営業開始

創業しようと思ったきっかけ

父が漁師をしており、輪島港直送の新鮮でおいしい魚を使った飲食店を開業したいと思っていました。平成27年3月に北陸新幹線が開通し、輪島市を舞台にした朝ドラ「まれ」の放送が始まった頃、朝市で条件の良い空き物件を見つけ、今しかないと思い開業しました。

挑戦・学び

輪島の一番の観光名所である朝市は、人通りが多いのはメリットですが、ライバル店も多く効果的なPR方法について試行錯誤していました。地域で取り組んでいる「能登丼」や「輪島ふぐ」のブランド化の推進事業に参加していますが、加盟店が掲載されるパンフレットはPR効果が高く、これを見た観光客がたくさん来てくれます。

創業支援を受けた感想

近くに相談できる先輩創業者がいなかったため、市役所や金融機関の担当者の方が親身に相談に乗ってくれたのが心強かったです。もともと寿司屋だった空き店舗を利用したのでコストが抑えられました。やると決心し、自分ができる方法を選んでいけば創業する事はそんなに高いハードルではないと感じました。

課題・これから

- ・更なる情報発信を行い、輪島の食の魅力をもっといろんな人に知ってもらおうと同時に、輪島朝市の活性化に貢献したい。
- ・地元食材を使ったコンセプトの違う店を開店し、地元に雇用と交流の場を増やしたい。

この支援策を活用しました！

事業名（輪島市商業活性化推進支援事業（遊休施設利用促進事業））

市内の空き店舗等を活用し、小売業、飲食業その他サービス業を営むものに対して補助金を交付することにより、地域商業の活性化と中小商業の振興を図ることを目的とする。

○支援を受けられる方

輪島市内の空き店舗、空家等を活用し、新たに小売業、飲食業その他サービス業を営む方

○支援の内容

- | | |
|----------------------|----------------|
| ①お店の改修、備品等購入費用に対する支援 | 補助率1/4（上限30万円） |
| ②お店の購入費又は賃貸料に対する支援 | 補助率1/4（上限30万円） |
| ③お店の広告宣伝費に対する支援 | 補助率1/4（上限5万円） |

支援者の声

今回の創業場所は立地条件が良く、オーナーの地元食材に対するこだわりもあり、輪島朝市の中でも多くの観光客が訪れるお店となっております。空き家・空き店舗が目立つと、せっかく輪島に来ていただいた観光客の方に残念な思いをさせてしまうことにもなりますので、今後も輪島市商業活性化支援事業をもっと多くの方に活用して頂き、空き店舗の解消と同時に創業者を増やし、地域の雇用確保や活性化に繋げて行きたいです。



輪島市産業部
漆器商工課 新甫裕也